

都立高校と連携する大学生団体紹介

国際協力 NGO 風の会 東京 星野有希さん

1 団体紹介

国際協力NGO風の会 東京(以下「風の会」という。)は、設立当時大学生の宮瀬英治(現会長)がアジア各国にて国際協力活動を行い、帰国後無力感を感じながらも「子供たちの追い風になりたい」という思いの下、平成11年(1999年)に設立されました。

現在、当会はカンボジアのバタンバン州の孤児院にて英語教育支援、総合教育支援、学校が不足している地域での学校建設支援を行っています。また日本国内では、小学校、中学校、高校に出向き、国際理解や国際協力についての出張授業やチャリティーライブなどの普及・啓発事業を行っています。

2 高校の授業を手伝って、と言われた時にどう思いましたか

当会は8年ほど前から、東京都を中心とした小中高校に「世界の現状について」「カンボジアについて」「国際協力について」の出張授業を行ってきました。今回の芦花プログラムはその授業の意味合いやコンセプト作りから都教委の方、芦花高校の先生方と一緒に進めたこと、また合計4回、計5か月にわたる長期的な取組ができるということにとっても魅力を感じました。

3 実際に授業に入ってから感想は？

当初は当会メンバーが勝手に描いていた芦花高校の生徒像で、授業プログラムを考えていました。しかし生徒さんは、自分たちが描いた生徒像とは違うことを感じ、生徒さんたちをみながら授業をつくっていく必要があることを実感しました。

4 こんなこともしてみたい

芦花高校の生徒さんに、今回テレビ電話で話したサオリというカンボジアの孤児院に住んでいる女の子に実際に会いに行ってもらいたいです。

団体HPアドレス <http://kazenokai.com/tokyo/>



(上)カンボジアに渡す新聞を作成中。テーマは日本文化の紹介、私の好きなもの。
(下)カンボジアのサオリさんに、テレビ電話で日本を紹介。

今できること 代表:豊田勇知さん

1 団体紹介

3月14日に立ち上げた高校・大学生中心の街頭募金団体。代表の豊田が仲間を募り、募金活動をしたところから始まり、仲間が仲間を呼び、現在に至った。設立10日で、参加人数500人以上、募金総額1092万円を集め、全額を日本赤十字社に寄付した。現在は月1~2回ほどの活動を新宿や渋谷などで行っている。

2 高校の授業を手伝って、と言われた時にどう思いましたか

高校生に、新しい環境を提供し、世界を広げてあげるチャンスだと思い、喜んで引き受けました。高校生も多く活動している団体なので抵抗も全くありませんでした。

3 実際に授業に入ってから感想は？

活動後にみんなで「振り返り」をしていた時、活動前との発言の内容の違いに大きな成長を感じました。ある生徒は「『塵も積もれば山となる』と『継続は力なり』を実感した。」と言って、思わず「偉人か!」とつっこみたくまりました。事後アンケートにも、「参加して良かった、楽しかった、世界が広がった、等々」の内容を紙面いっぱい書いてくれて、ほんとにやった甲斐があったなと思いました。

4 こんなこともしてみたい

いろんな高校の生徒をまぜこぜにして、大人数で募金活動を行いたい。いろんな気付きが与えられると思うし、単純に楽しいですよ。やってみると、あと、新しい震災復興支援プロジェクトを立ち上げ、実行もやりたいと思っています。誰でもウエルカムなので活動に参加したい人は、是非気軽に団体のアドレスにメールをください!!募金活動に難しいことはありませんし、新しい仲間が増えて楽しいですよ!

団体HPアドレス <http://masa.boy.jp/imadekirukoto/>



子供からお年寄りまで、多くの方が募金してくれました。2日間で167,644円。



作ったメッセージボードを持ちながら募金活動。大きな声で気持ちを届ける。

学生ボランティア企画集団NUTS 代表:野口邦彦さん

1 団体紹介

24時間テレビ(日本テレビ)企画「富士山をきれいにするプロジェクト」の下、活動を開始(平成16年)。現在は、富士山清掃活動に加えて、「学生23区清掃」(5月を「530 月間」として東京都23区で清掃活動)、「Touch the Fujisan」(富士山麓で清掃活動やウォークラリー、野外活動を含むエコツアー)、毎月開催「高田馬場清掃」等を企画・運営

2 高校の授業を手伝って、と言われた時にどう思いましたか

絶好の機会をいただいたと思った。今年のNUTSのテーマは「伝える」であったため、普段なかなか接することができない高校生に対してNUTSのことを、そしてボランティアの意外な楽しさを「伝える」ことができるといったため。

3 実際に授業に入ってから感想は？

・高校生+NUTSで100名に近い人が参加するイベントを運営できたことは大きな自信になった。高校生の元気・やる気を目の当たりにできたことも良い刺激となり、初対面の違う年代の参加者(高校生)とコミュニケーションを取る練習となった。

・多くの高校生がいると恥ずかしがるが、小さな班になると積極的になる生徒が多かった。最初は態度が気になる生徒もいたが、そのような生徒ほど活動に熱く取り組む印象を受けた。ほとんど遅刻がなかったし、話を聞くとときは静かに聞いてくれた。分からないことは自分から質問してくれる生徒がいて、自分からコミュニケーションを取ろうとしてくる姿勢がとてもよかった。

・代表である私自身は、名前・顔を覚えてくれたことがとてもうれしかった。

4 こんなこともしてみたい

1学年全員とゴミ拾い(先生も一緒に)

団体HPアドレス <http://www.nutsgets.com/>



暑い8月、新宿駅周辺のスポーツゴミ拾い。可燃不燃ごみ等約100Kg、タバコの吸殻約2800本を回収。



6班で競ったスポーツゴミ拾い。ごみの種類で獲得点数が違います。きちんと分別。

WAN (WIDE AREA NETWORK) 代表:吉永光太郎さん

WANは、地域と大学との間に入ってイベントの企画やコーディネートを行っている成蹊大学の学生団体で、昨年度から都立武蔵高校の授業の支援をしています。WANのメンバーが奉仕体験活動の事前学習の授業で、ボランティア活動について話しました。そして、高校の近くの公園保全活動や、障害のある方たちと市民が楽しむ「あったかまつり」での体験活動では、高校生が活動に入りやすいよう、一緒に体験活動を行っています。

1 団体紹介

地域のボランティア活動に参加していたのですが、大学生の参加が少なかった。でも、活動すると、活動先の方々が喜んでくれますし、自分にもとても良い経験になります。ボランティアに関係ない部活やサークルを巻き込めないかと、平成22年に新しく「WAN」を立ち上げました。

吉祥寺アニメワンダーランドに漫画研究会を紹介、企業のイベントにデザイン研究部を紹介、そしてあったかまつりの企画参加などを行いました。地域に新しい活動が生まれること、そして大学の部活やサークルにとっても新しい経験を増やすことを目的としています。

2 高校の授業を手伝って、と言われた時にどう思いましたか

自分も大学生になって初めてボランティアをして、とても楽しかったんですね。高校生から活動できるなんてうれしい、授業を通じてボランティア活動に興味を持ってもらえたらと思い、是非、という感じでした。

3 実際に授業に入ってから感想は？

講演なんて初めてだったのですが、皆さん真剣に話を聞いてくれている様で嬉しかったです。後日生徒の皆さんの感想をいただいたのですが、吉永さんの様になりたいですと書いてあったのが嬉しかった。すでにボランティア活動されている生徒さんもしらっしゃって、すごいなあと感心してしまいました。

4 こんなこともしてみたい

大学と武蔵野市のつながりをより強く、継続的なものにしていきたいです。イベントを主に、ボランティアでも何でもかまいません。高校生の皆さんとも一緒に、イベントの企画もしてみたいです。大学生とはまた違ったアイデアをお持ちでしょうか!

団体HPアドレス <http://wide-area-net.jimdo.com/>



(上)吉祥寺アニメワンダーランドに参加し、無事に来場者を楽しんでもらいました。
(下)武蔵高校でのボランティア談話会吉永さん。